

研究主題

「学習の見通しと学び方を理解して、進んで学ぶ生徒の育成」

研究のねらい

新学習指導要領のキーワードの1つとして「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」があり、昨年度より総則が移行期に入ったことから、今年度もその確実な実施が求められている。

そこで、本校の校訓である「和して学ばん」「汗して生きん」を主体的な学び、「創造の力みがかん」を深い学びと捉え、それを目指す生徒像として捉え各教科等の指導の中でその実現を図っていくこととした。

学校研究の狙いを焦点化し、生徒が学ぶことの意義を理解し見通しをもって学習する態度を育成することが「対話的な学び」や「深い学び」の基盤であると考え、上記の研究主題を設定した。移行期間のうちに、思考を広げ深める「対話的な学び」や「深い学び」についても計画的に研究実践していきたいと考えている。

本校の学校教育目標は「豊かな心や確かな学力、健やかな身体をバランス良く育むとともに、ふるさとを愛し、高い志と広い視野をもって社会の発展に貢献できる人を育成する」である。予測が困難な社会を、逞しく、そしてより良く生き抜く力を身に付けていくことを願い設定したものである。新学習指導要領を見通した研究実践の中で「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を推進するとともに、全ての教育活動を通して学校教育目標の実現に迫っていききたいと考えている。

研究内容

《研究部》授業づくりのキャッチフレーズは、「7 + 3 = 10」

◇学習習慣 【柱①：学習の基盤づくり】

- ・「授業を高める7か条」の徹底
- ・学習進度に応じた宿題や週課題の定着
- ・朝自習（読書）・終礼前学習の充実

◇授業改善 【柱②「わかる」「できた」を実感できる生徒主体の授業づくり】

- ・「授業改善3つのポイント」を活かした授業づくり
- ・調査結果の分析
- ・過去問の適切で計画的な活用



《道徳部》

- | | |
|-------------|----------------|
| ・教材分析と教材の工夫 | ・指導案や教材の保管・管理 |
| ・道徳ノートの活用 | ・「考え議論する道徳」の推進 |
| ・評価の研究推進 | ・地域人材の活用 |

《総合・特活部（キャリア教育）》

- | | |
|----------------|--------------------|
| ・生徒が主体となる活動の推進 | ・コミュニケーション力を育む取り組み |
| ・生徒会と学年委員会との連携 | ・個々の生徒理解の推進 |

★柱②：「わかる」「できた」を実感できる生徒主体の授業づくり

授業改善の3つのポイント・・・授業評価アンケートで検証

1. 本時のB基準(到達目標)の明確化

最初の5分程度で

- ◇単元で付けたい力を明確にし、生徒と共有する。(テスト勉強のポイントでも)
- ◇授業の最初にゴールと見通しをきちんと与える。
- ◇ゴールから逆算し授業を組み立てる。

2. 課題設定の工夫(生徒の脳をアクティブに)

AL20 (アクティブラーニング20) を目標に

1. 「AL20」とは、ALの実施率を示す指数(%)です。
2. 50分授業でAL5分なら、「AL10」、AL10分なら、「AL20」です。
3. 5時間の単元でAL1時間の場合も「AL20」です。

- ◇「考えたくなる」「やってみたくなる」「伝えたくなる」課題を工夫する。
- ◇課題は生徒と一緒に暗唱し、意識を高める。
- ◇生徒を指名して発表させる際は、起立させる。
- ◇SOS(喋りすぎ、教えすぎ、指示しすぎ)を意識し、考え(事柄、方法、根拠・理由など)を表現する場を設定する。静の時間と動の時間のバランスを意識する。
- ◇思考を広げ深める「対話的な学び」を充実させる。
 - ・根拠・理由をもとに自分の考えを述べられるようにする。
 - ・全体交流までに個人思考やペア・グループ活動での子どもの考えや定着状況をしっかり見取る。
 - ・全体交流では、教師の意図的指名や問い返しなど、コーディネートを効果的に行う。

3. 定着を図る時間の確保(最後は個に戻す)

OP80 (アウトプット80) を目標に

- ・「できたかどうか」や「分かったかどうか」を確認する活動で終わる。
- ・まとめ、リフレクション(振り返り)、リストラクチャー(再構築)はOP80(教科ごとに数値を決める)を目標に文章を書く。

1. OP80は、自分で80字以内の文章を書くという意味の80です。
 2. 授業中に考えたことや話し合っただけのことなど、授業の最後にまとめやリフレクション(振り返り)、リストラクチャー(再構築)として、80字以内で書きます。
 3. 目的は、活用力の育成です。(論理的思考力、批判的思考力)
 4. なぜ50～80字以内かというと、1文は50字前後が理想とされており(簡潔に明確に書く)、2文で書けば80字程度になるからです。
- ★「学力調査」や「高校入試」における記述式問題の文字数が80字以内です。
 - ★毎時間、これを書かせる必要はありません。基礎・基本の知識や技能を定着させる必要もあり、単元の中で計画的に実施します。
 - ★3年生で80字ということであり、1年生から計画的に増やす方法もあります。



授業で言語活動を取り入れても、最後の評価場面やテストが従来型の選択問題や短答問題などでは、生徒は真剣に取り組みません。最後の評価場面や定期テストで、活用型の記述問題などを工夫することが大切です。